

令和 7 年度事業計画

令和 7 年 4 月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター

人形峠環境技術センター（以下「センター」という。）は、日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）の経営理念のビジョン『「ニュークリア×リニューアブル」で拓く新しい未来』を共有し、原子力を活用した脱炭素社会の実現に取り組みます。

具体的には、安全確保を最優先とした持続的なバックエンド対策の着実な推進を図るべく、ウラン取扱施設の廃止措置や鉱山関連施設の閉山措置、これらに関連する研究開発等を、センターが推進する「ウランと環境研究プラットフォーム」のもとで、地元自治体・地域の方々等からのご意見・ご提言を踏まえながら、また、地域住民の方に信頼される組織であり続けられるよう努力しながら事業を進め、その成果を公表し、丁寧に説明していきます。

令和 7 年度のセンター事業計画における取り組み事項は、以下のとおりです。

1.安全確保・環境保全に関すること

- 1) 基本動作の徹底、法令・ルールへの順守、品質マネジメント活動、リスク対策を行うとともに、従業員間のコミュニケーションを図りながら業務を進めます。
- 2) 施設の安全対策として、自然災害対策及び高経年化を踏まえた保守管理を進めます。
- 3) 施設・設備、核燃料物質及び放射性廃棄物の安全かつ適正な管理を継続します。
- 4) 省資源・省エネルギーを推進し、地球温暖化防止等、環境に配慮した業務を継続します。

2.事業（開発・研究等）に関すること

- 1) ウラン濃縮原型プラントでは、原子力規制委員会から認可を受けた加工事業の廃止措置計画に従い、設備の解体撤去を進めます。また、六フッ化ウランの譲渡しのための詰替・洗浄設備の製作等を進めます。
- 2) 濃縮工学施設では、放射性廃棄物発生量を最少化するため、使用済み遠心機等の除染処理や除染済部品のクリアランス確認を継続します。

- 3) ウラン廃棄物の処理処分の技術開発として、除染技術開発等のウラン廃棄物工学研究や安全性評価等の環境研究を進めます。

以 上

令和7年度事業計画スケジュール

[illegible]